

岩盤ボーリング柱状図

調査名 主要地方道呉平谷線(上二河工区)道路改良事業に伴う業務委託(橋梁詳細設計(鋼))

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 道路 構造物基礎

ボーリング名	R1-B-6 (P3L)	調査位置	広島県呉市上二河町地内	北緯	34° 15' 56.22"
発注機関	広島県西部建設事務所 呉支所	調査期間	2019年 12月 25日 ~ 2020年 1月 15日	東経	132° 33' 37.04"
調査業者名		主任技師		現代代理人	
コア採取率		コア長さ		コア直径	
孔口標高	T.P. 44.86m	角	180° 上下 90°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°
総削孔長	15.00m	地盤勾配	鉛直 90° 27'	使用機種	試験機 TOHO D0-D エンジン ヤンマー TF90V-E ポンプ MARUYAMA MS313

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	割れ目の状態	岩等級	コア採取率 —(%) 最大コア長 cm RQD —[%]	地質時代名	記	孔内水位/測定月日	ルジオン 標準貫入 試験		原位置試験	削孔状況				
															N値	ルジオン値		削孔速度 (cm/h)	削孔径 (cm)	給水圧 (MPa)	送水圧 (MPa)	排水量 (L/min)
1			崖堆積物(玉石混じり砂礫)	崖堆積物(玉石混じり砂礫)	灰褐く褐灰						78, 90, 100		GL-0.1mまで植物根が混入する。以深、コア長10~15cm程度の花崗岩玉石が混じる砂礫。礫はφ2~20mm程度の亜角礫主体。隙間は細粒分を多く含む中砂・粗砂及び細礫にて充填される。		3 1.15 300		SC T/W	600	0.1	80	0.0	W1 0
2											78, 90, 100				4 1.45 300			83	0.2	120	0.1	W2 2
3	42.16	2.70									78, 90, 100				5 2.15 300			79	0.2	120	0.1	W2 2
4											33, 64, 100				12/20 2.30 50			66	3.0	180		
5			弱風化花崗岩	弱風化花崗岩	淡黄灰く白灰						44, 60, 100		φ5~10mm程度と大きく鉱物が成長した状態。節理が10~20cm間隔程度で発達し、節理面は概ね褐色味を帯びる。岩芯も淡く褐色味を帯びる。亀裂の一部で明褐色の細粒マサが充填する。概ね1m間隔程度で厚さ1cm程度の開口節理が見られ、細粒マサ並びに花崗岩片が充填する。全体的にコア肌はなめらかだが、GL-7.5m付近、-10.1m付近など一部でコア肌が荒くなる。		01/00 4.00 50			71	3.0	180		
6											44, 60, 100				50			67	3.0	180	0.2	W2 3
7											40, 60, 100				50			50	2.0	200		
8											34, 73, 100				50			65	3.0	180	0.1	W2 5
9											22, 63, 100				50			67	3.0	180		
10	34.66	10.20									22, 63, 100				50			57	3.0	200		
11											28, 62, 100				50			53	4.0	200		
12			花崗岩	花崗岩	白灰						39, 60, 100		新鮮な状態。コア肌は主としてなめらかな状態で、岩芯は硬くハンマーで金属音を発す。亀裂は見られるものの、亀裂面は新鮮で密着している。GL-12.0m~13.0m間、やや多角裂な状態で、コア長50m内外の短棒~角礫状コアが多くなる。		01/00 11.00 50			55	4.0	200	0.1	W2 6
13											13, 37, 100				50			51	4.0	200		
14											15, 60, 100				50			53	4.0	200		
15	29.86	15.00									13, 72, 100				50			50	4.0	200		